

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	博物館経営論					授業形態	講義			
科目コード	710101	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	永友 良典								ICT活 用	
授業概要	<p>博物館へのニーズ拡大やグローバル化、情報化・国際化の進展の中で、多くの来館者や市民が満足して利用してもらえる博物館づくりのために、博物館の意義、組織、施設、人材の在り方、経営手法としてのマーケティングと評価、市民や地域社会との連携など、博物館経営的な視点で博物館を運営することが不可欠な事柄であることについて学ぶ。</p> <p>宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館に約20年間の勤務経験があり文化財IPMコーディネーターの資格を有しており文化財保存に関する豊富な実務経験を持ち、東日本大震災や熊本地震等では文化財レスキュー活動にもかかわった。また、宮崎歴史資料ネットワークに所属しており文化財保全活動のボランティアに携わっている。以上の経験を授業に十分に生かせることができる。</p>									
関連する科目	1年次および2年次に履修した学芸員養成課程に関する科目									
授業の進め方 と方法	<p>授業で取り扱う重要なキーワードを事前にまとめておき、授業で取り上げながら要点をまとめる。授業ではこれまでに蓄積した関連する写真データを使ってわかりやすい授業に務める。</p> <p>また、レポート「博物館を作ろう」を課し、授業で学んだ内容をもとに、学生が作りたい博物館等を完成させる。</p>									
授業計画 【第1回】	第1回 ミュージアムマネージメントとは 博物館の現状を紹介し、「博物館経営論」で学ぶ項目について概要を解説する。									
授業計画 【第2回】	第2回 博物館と行財政 博物館を運営していく中で重要な行財政についてそれぞれの概要を解説する。									
授業計画 【第3回】	第3回 博物館と行政 博物館経営に行政がいかに関わっているか。関連する法律や制度を取り上げ歴史や現状について紹介する。									
授業計画 【第4回】	第4回 博物館の組織とスタッフ 博物館の組織とスタッフについていくつかの事例を紹介し、博物館経営に必要な組織作りとスタッフの構成等について考える。									
授業計画 【第5回】	第5回 博物館の施設と設備 博物館の施設や設備について事例を紹介し、これからの博物館に必要な施設等を考える。また、最近の博物館に導入が進んでいるユニバーサルデザインについても解説する。									
授業計画 【第6回】	第6回 博物館倫理と行動規範 博物館を取り巻く状況を紹介します。博物館経営に必要な倫理と学芸員が活動する際に心がけるべき行動規範について考える。									
授業計画 【第7回】	第7回 博物館の使命 「使命」が博物館経営にとっていかに重要かを解説し、いくつかの事例を紹介し「使命」について理解させる。									
授業計画 【第8回】	第8回 博物館の評価 博物館評価の導入の経緯、評価の手法やシステムを解説し、評価の現状と課題についてまとめる。博物館評価が使命達成にとっていかに必要かを解説する。									
授業計画 【第9回】	第9回 博物館の危機管理 災害時の博物館の取り組みについて解説する。事前の防災対策、災害発生時の被害軽減を考えたリスクマネジメント等の基本的な考え方について解説する。授業では、東日本大震災や熊本地震等の災害で行われた文化財レスキュー活動の事例を紹介する。									
授業計画 【第10回】	第10回 博物館のパブリシティ（マーケティングと広報） マーケティングと広報について定義や方法を解説し、事例を紹介する。マーケティングと広報がこれからの博物館経営にとって重要であることを説明する。									

授業計画【第11回】	第11回 ミュージアムショップとレストラン・カフェ 博物館にとって必要な施設であり、博物館経営の一部となっているミュージアムショップやレストラン、カフェについて博物館施設としての在り方について解説する。
授業計画【第12回】	第12回 指定管理者制度 2003年度から新たに導入され、その後の博物館経営にも大きな影響力を持つ「指定管理者制度」について、制度の仕組み、導入後の現状と課題について事例とともに解説する。
授業計画【第13回】	第13回 博物館における連携①（博物館ボランティア・友の会との連携） 博物館運営に欠かせない博物館ボランティアや友の会、博物館支援組織等の育成や連携について事例をふまえて解説する。
授業計画【第14回】	第14回 博物館における連携②（他の博物館や研究機関等との連携） 他の博物館や研究機関等との連携について相乗効果や新たな価値の創造といった視点から事例を中心に紹介する。
授業計画【第15回】	第15回 博物館における連携③ 学校や行政機関、地域社会、教育機関や医療機関等とのより密接な連携について事例を中心に紹介する。
授業の到達目標	学芸員も経営的視点を持ち、すべてのスタッフとともに博物館経営に取り組みなければならないことを理解することが必要である。そのために、博物館がいかに多くの人に利用してもらえるかを考え、博物館が所有するハコ（施設・設備、展示等）、ヒト（スタッフ、来館者等）、モノ（コレクション、情報等）をいかに適切に管理し運営していくかを理解し、博物館のミュージアムマネージメントに関する基礎能力を養う。
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	提示する重要なキーワードについて、内容を事前に調べる。（30分）
授業時間外学習【復習】	授業で解説した課題についてまとめ、提出する。（30分）
課題に対するフィードバック	提出されたレポートにコメントする。
評価方法・基準	定期試験80点、課題20点
テキスト	毎回、作成した資料を配付する。
参考書	なし
備考	